

◆◇----- 感染症に関する情報 -----◆◇

<COVID-19>

本日1月22日に、令和5年度第3回筑西保健所管内新型コロナウイルス感染症対策連絡会議を開催いたしました。

定点あたり報告数は、52週4.09、令和6年1週6.73、2週7.82と増加傾向です。冬に入り、発熱患者等急増に伴い、入院患者数（G-MISより算出）も急増しており、入院病床がひっ迫しています。（別表）

高齢者施設等から転院が困難な場合には、施設内療養加療を検討する必要があります。また、在宅患者に対する往診や外来での点滴等、症状に応じた対応が求められます。その一方で、高齢者等、重症化リスクの高い患者への適切な医療の提供に留意する必要があります。

- 管内のクラスター発生状況（12/28～R6.1/18） 医療機関1、高齢者施設4、障害者施設2
- 新型コロナウイルスのゲノム解析結果について、県衛生研究所から公表されました。

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/covid19-genome.html>

【定点医療機関からの報告（定点当たり）数】

インフルエンザの報告数は、52週に比べ減少しているものの、未だに高い数値を示しています。新型コロナウイルス感染症による入院患者数が増加傾向にある中で、インフルエンザも含めた呼吸器疾患に係る入院病床の運用について、難しい対応が続くものと思われます。

報告週	インフルエンザ	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎
52週（12/25～12/31）	17.45	2.57	0.14	7.71
R6.1週（1/1～1/7）	8.18	2.00	—	3.14
2週（1/8～1/14）	9.82	3.43	0.29	6.00

【感染性胃腸炎の集団発生】

管内医療機関において、入院病棟での集団発生が報告されています。冬季は『感染性胃腸炎』の流行時期になります。別添リーフレットを参考に吐物処理物品の準備、有効な消毒薬である次亜塩素酸ナトリウムの使用、吐物処理の手順の確認・訓練をお願いします。

【参考リーフレット ノロウイルスに注意】

【学校等欠席者・感染症情報システムから】

新学期と同時に、インフルエンザ、新型コロナウイルスの欠席の報告が増えています。また1月16日以降、インフルエンザによる学級閉鎖措置を取る学校が増えています。下痢・嘔吐などの消化器症状による欠席の報告も増えており、感染性胃腸炎の集団発生の報告も受けています。学校等においても、リーフレットを参考に感染対策を図りましょう。

【全数把握感染症の発生届】

報告週	二類感染症	三類感染症	五類感染症
52週（12/25～12/31）	—	—	—
R6.1週（1/1～1/7）	—	—	—
2週（1/8～1/14）	—	—	梅毒 侵袭性肺炎球菌感染症

★茨城県感染症流行情報（2024年 第2週）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/weekly/documents/2024idwr02.pdf>

★茨城県インフルエンザ流行情報2023-2024年(第19報)

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2023sflureport19.pdf>

★インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等措置・集団発生等の状況について（第19報）

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2023_24flu19.pdf

★茨城県感染症流行情報月報（2023年12月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/std/documents/2023mrp12.pdf>

★茨城県衛生研究所における病原体検出情報（2023年12月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/std/documents/2023mrp12.pdf>

◆◇----- 医療機関の皆様へお願い -----◆◇

○ G-MISにより病床を確認し、医療機関が入院調整等に活用させていただいています。引き続きの入院患者数の入力に、ご協力をお願いいたします。